

会議録

会議の名称	令和2年度 清須市行政改革推進委員会（第2回）（書面会議）
開催日時（期間）	令和2年10月27日（火）～11月6日（金）（意見等提出期間）
開催場所	—
議 題	行政評価結果を踏まえた事務事業の見直し・改善について
会 議 資 料	資料 行政改革推進委員会（第1回）における主な意見と意見に対する考え方
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	—
傍 聴 人 の 数	—
出 席 委 員	野田委員(会長)、齊藤委員、福井委員、綱島委員、川口委員、山田委員、高山委員、福田委員、中田委員
欠 席 委 員	なし
出席者（市）	—
事 務 局	（企画部企画政策課（企画政策係）） 後藤次長兼課長、服部課長補佐兼係長、河村副主幹、服部主任
<p>1 議事 行政評価結果を踏まえた事務事業の見直し・改善について</p> <p>7月に開催した第1回行政改革推進委員会においては、令和2年度行政評価（令和元年度対象）に係る外部評価として、評価の妥当性・客観性の確保を主眼に、ご意見等の聴取を行ったところです。</p> <p>第2回委員会では、第1回委員会にて聴取したご意見に対する事務事業の見直し・改善に向けた市の今後の考え方について、書面により意見聴取を行いました。</p>	
<p>2 回答結果（会長を除く委員8名）</p> <p>(1) 意見あり 2名</p> <p>(2) 意見なし 6名</p>	
<p>3 提出意見</p> <p>別紙「行政改革推進委員会（第2回）における意見」のとおり</p>	
問い合わせ先	企画部 企画政策課 電話 052-400-2911（内線3214）

行政改革推進委員会（第2回）における意見

1 「施策 701 市民参加・市民協働の推進」について

① 市民協働に関しては、外部評価の非常にしにくい政策の一つと考えます。それは、意見にもあるとおり、市民参加・市民協働を推進するといっても、活動自体が多種多用であり、目的も違う為であるからではないかと思えます。もし、外部評価を行うのであれば、各活動をそれぞれの目的に合わせて各課に振り分け、活動を自己評価した上で、その評価結果を踏まえて企画政策課が統括評価を行うと良いと考えます。

2 「施策 605 国際交流の振興」について

② 前回の委員会の様子を鑑みると、評価を行う以前に、施策自体の必要性や方向性の問題点が多いと感じます。意見にもあるとおり、今後は、外国人の方が市民として増えていくことになり、今までのように交流するというよりも、共生していく形になっていくと思われれます。それを踏まえて、今一度施策自体の見直しが必要だと考えます。

3 「施策 406 ごみの減量化と資源化の推進」について

③ ごみの処理に関しては、現状、市と民間事業者で上手く機能しているように見えます。もし、施策の効果や改善を考えるのであれば、民間事業者が設置する資源回収ステーションの設置場所や収集量を把握することから始める必要があるのではないかと思います。

④ イベント等におけるごみ減量化については、今のところ指標もないので、「指標づくりから検討する」くらいの方角性があっても良いのではないかと思います。

4 その他（行政評価の仕組みについて）

⑤ 評価というより、計画の実行方法と結果の報告書のようになっているため、今後引き続き外部評価を行うのであれば、市民と対面した際に受けた意見や、組織内部での意見交換の結果を記載するなど、もう一步踏み込んだ評価を行う必要があると思えます。

また、意見にも出ていましたが、横の情報交換の難しい今の行政システムの中でも、評価書を全課にて共有することで、課同士の協力関係を築く一助になるのではないのでしょうか。